

上越総合病院



所在地

新潟県上越市大道福田616番地

TEL

025-524-3000（内線3701）

ホームページ

<https://joetsu-hp.jp/>

標榜診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、循環器内科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、腎・糖尿病内科、放射線治療科、乳腺外科、歯科・口腔外科

病床数

313床

医師数

常勤：72人 非常勤：7.94人（2020年4月1日現在）

患者数

入院（H30年度）	年間延べ患者数	93,439人	1日平均患者数	255.9人
外来（H30年度）	年間延べ患者数	208,496人	1日平均患者数	838.0人

病院の特徴等

新潟県上越二次医療圏の急性期基幹病院です。急性期のみならず病院の理念に「医療を通じて上越地域の発展に貢献する」と謳い、地域に根付いた医療を実践しています。地域のニーズに応え、救急部門では一次から二次、一部三次救急まで幅広い救急医療を提供しています。また、教育研修センターを設置して職種を問わず医療人の人材教育に力を入れています。初期研修、専門研修でも、研修の成果が挙がるように強力にサポートします。



アピールポイント

- 多大学から集まる医局：各診療科の垣根が低く診療連携が取りやすい環境です。多様な考え方から新しい文化が生まれます。
- 福利厚生が充実：職員の健康管理がきちんとなされています。同好会活動（テニス・野球・バドミントン・華道等）や院内親睦会行事も盛んです。
- 女性医師サポートあり：院内保育所があります。また他の保育所利用やベビーシッターに係る費用の助成制度もあります。専用の休憩スペース、シャワー室があります。



施設等の紹介

- 院内は明るく清潔な働きやすい環境です。
- 研修に必要な図書室やインターネット環境（電子ジャーナル）などを完備しています。文献検索サイトもあります。
- 院内保育所があり、女性医師の働き方をサポートします。
- 教育研修センターを有し、卒前卒後の医師教育や職員のスキルアップを支援しています。
- 住居は、病院から徒歩圏内で斡旋いたします。病院借上げ住宅ですので、面倒な手続きは不要です。



内科専門研修プログラム

■ 研修概要

本プログラムは、富山県、長野県に接して新潟県西南部に位置する上越糸魚川医療圏の中心的な急性期病院の一つである上越総合病院を基幹施設として、上越糸魚川医療圏ならびにこれまで連携を行ってきた新潟県、富山県、長野県の連携施設・特別連携施設とともに研修を行います。

専攻医は本プログラム専門研修施設群で3年間（基幹施設1年+連携施設及び特別連携施設1年+選択1年）に豊富な経験を持つ指導医の適切な指導の下で研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を行います。研修を通じて標準的かつ総合的な内科的医療の実践に必要な知識・技能・態度を身につけます。また、個人のサブスペシャリティ専攻に合わせ、より習熟した専門領域の研修も行われます。

■ アピールポイント

- 上越総合病院では医師派遣が多大学の医局からあり、文化の違いに刺激があり、診療科の垣根が低く診療連携が取りやすい。
- 連携施設が多く、研修の場の選択肢が広がる。
- 教育研修センターが研修の成果が挙がるようサポートします。

■ 特色

基幹施設である上越総合病院では循環器、呼吸器、消化器、神経、腎・糖尿病のサブスペシャリティをはじめ、コモンディーズから老年医療、複数の病態を併せ持つ複雑な症例、診断困難症例などを総合内科診療科で経験可能です。厚生連病院として地域に根ざした第1線の医療を行っており、医療を通じて上越地域の発展に貢献するという理念のもと、急性期から慢性期まで幅広い領域に係る研修ができます。救急は二次救急、一部三次救急までを担っており、救急車受入実績は2017年度 2,790件、2018年度 2,709件です。walk-in救急患者は2017年度 3,905件、2018年度 4,072件です。半数程度は内科系救急であり、十分な症例を経験できます。

連携施設は新潟、富山、信州の各大学病院に加え、近隣の中核医療施設で構成され、基幹施設で経験が困難な領域の研修や、サブスペシャリティー研修の場となります。特別連携施設は地域の第一線での医療を行っている近隣施設で構成され、主に地域医療の研修の場となります。

教育研修センターを有し「学習者第一」の視点で卒前卒後の医師教育や職員のスキルアップを支援しています。

指導医からのメッセージ

当院は上越医療圏の基幹病院として救急医療から急性期疾患、そして慢性期疾患（高齢者、終末期）、地域医療といった様々な医療現場を経験することができます。

また、総合診療にも力を入れており、ジェネラリストを目指す研修も可能です。病院全体で若手医師の育成に取り組んでいる当院での研修をぜひご検討ください。

■ 連携施設の病院名

連携施設：新潟県立中央病院 柏崎総合医療センター 新潟大学医歯学総合病院 富山大学附属病院 信州大学医学部附属病院 糸魚川総合病院

特別連携施設：上越地域衣装センター病院 知命堂病院 けいなん総合病院 新潟県立柿崎病院 新潟県立妙高病院 新潟県立松代病院

研修期間 3年

2021年度募集人数 3名

選考方法 書類・面接

プログラム責任者 副院長・内科部長 佐藤 知巳

■ 研修コース

①基本コース

○内科総合コース

(ホスピタリストコースと地域医療コースがあります)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科1		内科2		内科3		内科4		内科5		内科6	
	外来診療											
	基幹施設（上越総合病院）											
2年次	内科7				地域医療							
	外来診療は連携施設の状況で考慮						外来診療					
	連携施設						特別連携施設					
3年次	選 択											
	外来診療は基幹施設では推奨、連携施設・特別連携施設では施設毎に判断											
	基幹施設（上越総合病院）または連携施設、特別連携施設のいずれか											

○内科サブスペシャリティコース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科1		内科2		内科3		内科4		内科5		内科6	
	外来診療											
	基幹施設（上越総合病院）											
2年次	内科7				地域医療							
	外来診療は連携施設の状況で考慮						外来診療					
	連携施設						特別連携施設					
3年次	サブスペシャリティ研修											
	外来診療は基幹施設では推奨、連携施設では施設毎に判断											
	基幹施設（上越総合病院）または連携施設											

②週間スケジュールの例

上越総合病院（総合内科・救急）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	朝カンファレンス	総回診	朝カンファレンス	抄読会	朝カンファレンス	・必要に応じて担当入院患者診療 ・拘束担当医の場合病棟患者診療/オンコールなど ・講習会・学会参加 ・日当直	
	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療		
	ER診療	内科外来	ER診療	内科外来	ER診療		
午後	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療		
	内科時間外外来診療	ER診療	病棟他職種カンファレンス	ER診療	内科時間外外来診療		
	症例検討会	症例検討会	症例検討会	症例検討会	症例検討会		
夜	担当患者の病態に応じた診療/オンコール/当直など						

- ・診療科ごとにスケジュールは異なります。
- ・スケジュール作成に際しては、専攻医の希望を考慮し、相談のうえ決定します。
- ・入院患者診療には、各診療科の入院患者の診療を含みます。
- ・外来患者診療は、一般内科外来でプログラム開始時に日程を決めます。ローテートする診療科との時間的な調整が必要な場合には日程の変更を考慮することがあります。
- ・日当直や夜間・休日の待機当番などは内科の一員として担当します。これら時間外の研修に際しては、過重労働にならないよう代休などの配慮をします。基幹施設である上越総合病院は週休二日制です。
- ・連携施設における時間外研修は、施設の状況によって異なります。
- ・CPC、地域参加型カンファレンス、各種講習会などは随時開催され、事前にアナウンスをします。学会や院外の研究会などは、各々の開催日に参加します。

問い合わせ先

担当者 教育研修センター 佐藤 真由美

TEL 025-524-3000 (内線3702)

FAX 025-524-3002

E-mail rinsho@joetsu-hp.jp

ホームページ https://joetsu-hp.jp/latter_resident/

麻酔科専門研修プログラム

■ 研修概要

上越総合病院を責任専門研修基幹施設として、専門研修連携施設Aの富山大学附属病院、富山県立中央病院、富山赤十字病院、専門研修連携施設Bの富山市民病院、黒部市民病院、済生会富山病院、済生会高岡病院、糸魚川総合病院など主に新潟県上越地区と富山県内の施設を中心にして、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる教育を提供し、十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。

■ アピールポイント

- 当院では一般診療でよくある症例の麻酔を幅広く経験できます。全身麻酔に硬膜外麻酔や超音波ガイド下神経ブロックを積極的に併用した、術後鎮痛を重視した麻酔を学べます。
- 連携施設の富山大学病院では小児心臓手術の麻酔症例数が大変豊富です。小児心臓麻酔のスペシャリストを育てます。
- 当院ならびに連携施設では、出産、育児をしながら麻酔科専門医習得を目指す医師に「ママさん麻酔科医コース」が整備されています。もちろん男性医師が選択することも可能です。(http://www.med.u-toyama.ac.jp/anesth/clin_training.html)

■ 特色

- 専攻医がそれぞれの経験目標に必要な麻酔症例数を達成できるように柔軟に対応できるローテーションを構築する。
 - ①すべての領域を万遍なく回る基本ローテーション
 - ②小児診療（特に複雑心奇形修復術の麻酔管理）を中心としたローテーション
 - ③ペインクリニックを中心に学ぶローテーション
 - ④集中治療を中心に学ぶローテーションなどから自由に選択可能。

指導医からのメッセージ

当院は富山大学を中心とした連携施設群のひとつです。当院での麻酔科研修は1年目に麻酔の基本的な手技について学び、それ以外の2年間は専攻医がそれぞれの経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、連携施設での研修も含め、専攻医の希望に添った柔軟なローテーションを構築できます。

■ 連携施設の病院名

富山大学附属病院 富山県立中央病院 富山赤十字病院 富山市民病院 黒部市民病院 済生会富山病院 済生会高岡病院 糸魚川総合病院

研修期間 3年

2021年度募集人数 3名

選考方法 書類・面接

プログラム責任者 麻酔科部長 朝日 丈尚

■ 研修コース

①基本コース

	A (標準)	B (小児・心臓)	C (ペインクリニック)	D (集中治療)
1年目	上越総合病院	上越総合病院	上越総合病院	上越総合病院
2年目	富山赤十字病院	富山県立中央病院	富山市民病院	富山県立中央病院
3年目	富山県立中央病院 または富山大学付属病院	富山大学付属病院	富山大学付属病院	富山大学付属病院 もしくは富山県立中央病院
4年目	上越総合病院	富山大学付属病院	富山県立中央病院	富山大学付属病院 (集中治療)

②週間スケジュールの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	術前・術後 診察	手術室	術前・術後 診察	術前外来 ペインクリ ニック	休み	休み
午後	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み

認定医（標榜医）取得後は、週1回～2回の麻酔当番（いわゆるon call）があり、夜間の実労働次第で翌日の勤務軽減を考慮する。

問い合わせ先

担当者 教育研修センター 佐藤 真由美

TEL 025-524-3000 (内線3702)

FAX 025-524-3002

E-mail rinsho@joetsu-hp.jp

総合診療専門研修プログラム

■ 研修概要

本プログラムでは、7つの資質・能力（①包括的総合アプローチ ②一般的な健康問題に対する診療能力 ③患者中心の医療ケア ④連携重視マネジメント ⑤地域包括ケアを含む地域志向アプローチ ⑥公益に資する職業規範 ⑦多様な診療の場に対する能力）を獲得することを目指しています。

当院は、総合診療科を有しており、臓器別でない病棟診療（高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、癌、非癌患者の緩和ケア等）と臓器別でない外来診療（救急や複数の健康問題をもつ賢者への包括的ケア）を提供することができる総合診療専門医の育成を目指します。

■ アピールポイント

- 上越総合病院では医師派遣が多大学の医局からあり、文化の違いに刺激があり、診療科の垣根が低く診療連携が取りやすい。
- 連携施設が多く、研修の場の選択肢が広がる。
- 教育研修センターが研修の成果が挙がるようサポートします。

■ 特色

新潟県の南西部に位置する上越地域は、北陸新幹線開通を機に首都圏からの高齢者の移住先として注目されています。また上越地域は、新潟県の中でも高齢化や過疎化が進んでおり、包括的視点からの医療ニーズが極めて高くなっています。当プログラムは、基幹施設である上越総合病院と新潟県および北陸3県の医療機関を含む広域な連携施設でも研修が展開されます。

指導医からのメッセージ

2016年4月より当院の総合診療科で勤務しています。入院患者の年齢層はどんどん高くなっています。高齢者の診療の際、決まって困ることは治療に手間取ったわけではないのに①立てなくなる、②肺炎を起こす、③尿道カテーテル抜去後自尿が出なくなる、④夜大騒ぎをするのです。そのたびに専門医に伺いを立てられません。必然的に総合診療に仕事があります。まさにこの地域が高齢化医療の最先端です。

総合診療科は、ドクターGのように難解な病気を一発で診断できるようになることも大事ですが、高齢者医療でよく遭遇する上記問題を面倒くさいと言わない医師に育ってもらいたいと日々後輩の指導を行っています。

■ 連携施設の病院名

新潟県厚生連糸魚川総合病院 新潟県厚生連けいなん総合病院 新潟県立柿崎病院 新潟県立妙高病院 新潟県立松代病院
上越地域医療センター病院 三交病院 湯沢保健医療センター 清華ファミリークリニック 揚石医院内科小児科循環器科
新潟大学医学総合病院 北陸総合診療コンソーシアム連携病院^(※)

※北陸総合診療コンソーシアム連携施設（38施設）

公立穴水総合病院 恵寿ローレルクリニック 金沢大学附属病院 金沢医科大学病院 石川県立中央病院 城北病院 市立敦賀病院 珠洲市総合病院 市立輪島病院 市立輪島病院船倉診療所 公立宇出津総合病院 公立穴水総合病院兜診療所 公立能登総合病院 恵寿総合病院 町立宝達志水病院 公立羽咋病院 河北中央病院 金沢市立病院 国立病院機構金沢医療センター 公立松任石川中央病院 公立つるぎ病院 独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院 石川県済生会金沢病院 北陸病院 金沢赤十字病院 浅ノ川総合病院 けんろく診療所 紺谷内科婦人科クリニック 小松市民病院 能美市立病院 芳珠記念病院 加賀市医療センター 寺井病院 富山協立病院 水橋診療所 光陽生協クリニック 光陽生協病院 つるが生協診療所

研修期間 3年

2021年度募集人数 3名

選考方法 書類・面接

プログラム責任者 総合診療科部長 大堀 高志

■ 研修コース

①基本ローテーション

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科											
	上越総合病院											
2年目	総合診療専門研修Ⅱ						小児科			救急科		
	上越総合病院						上越総合病院					
3年目	総合診療専門研修Ⅰ						総合診療専門研修Ⅱ					
	連携施設						上越総合病院					

※日本専門医機構認定プログラムでは、内科研修を1年以上、小児科、救急科を必須の研修科としています。

※総合診療専門研修はへき地で1年以上の研修を行うこととなりますが、基幹施設のある上越市、連携施設がある糸魚川市、十日町市、その他北陸総合診療コンソーシアム内においてもへき地と定められた研修施設は複数あります。

②週間スケジュールの例

基幹施設（上越総合病院）総合診療科（総合診療専門研修Ⅱ）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30	モーニングカンファレンス						
8:30-12:00	総合診療科外来						
8:30-12:00	病棟業務						
13:00-16:00	救急外来						
13:00-16:00	病棟業務						
16:00-17:00	症例カンファレンス・抄読会						
平日宿直2-3回/月、土日の日直・宿直1-2回/月							

午前中の総合診療科外来の担当曜日、午後の救急外来担当曜日は、他の専攻医の状況に応じて、研修開始前にプログラム統括責任者と協賛のうえ決定します。これらの担当でない曜日は病棟業務となります。

内科（循環器内科を一例として示す）

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:30	総回診						
8:30-12:00	外来（主として新患を担当）						
8:30-12:00	病棟業務						
13:00-16:00	午後検査						
13:00-16:00	病棟業務						
16:00-17:00	症例カンファレンス						
平日宿直2-3回/月、土日の日直・宿直1-2回/月							

外来の曜日は変更する場合があります。

■ その他参考情報

日本病院会認定「上越総合病院 病院総合医育成プログラム」を有しています。

問い合わせ先

担当者 教育研修センター 佐藤 真由美

TEL 025-524-3000（内線3702）

FAX 025-524-3002

E-mail rinsho@joetsu-hp.jp

ホームページ https://joetsu-hp.jp/latter_resident/